

ハイヤー・タクシー業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	15~16	出口付近にて信号渋滞となり、停止と発進を繰り返す状況となった。完全停止している状態で、後方の2tトラックより追突を受けた。	45	300～499
2	8~9	被災者は、実車中渋滞のため、前車に続き停車していたところ、後方から走行してきた相手方トラックに追突され、負傷したものである。	54	100～299
3	21~22	走行中、先行事故（酒気帯び事故）により停車していた車両が、避難措置を取らず、また停止表示器材の設置をすることもなく無灯火の状態で行車線上を斜めに停車していたため、回避措置が遅れ、相手方車両の左前部に衝突し、その反動で中央分離帯の側壁に衝突した。	71	100～299
4	11~12	無線にてお客宅へ迎えに行き、旅行用のスーツケースを2個トランクへ入れ駅に到着後、トランクより1個目を降ろした後に2個目のトランクを持ち下りる際に腰部に激痛が走った。車庫に戻っても痛みが続いたため様子を見たが、痛みが酷くなり早退した。	57	100～299
5	11~12	渋滞のため停車中に、事故を起こしたトラックが時速60kmノブレーキで自車の後続車に追突し、その勢いで後続車が自車に追突し、玉突き事故となった。	24	100～299
7	13~14	停車しようとした際、後方から進行してきた車輛に追突され負傷した。	59	100～299

11	0~1	交差点に来た時、矢印信号の見間違いで赤信号進入してしまい左から来たトラック、オートバイと衝突した。	69	300 ~ 499
12	17~18	業務時間中、乗客を乗せ、タクシーを走行中、道路上で左側通路から突然トラックが進入し、車両の左前部に衝突した。衝突された際、被災者はエアバックの圧迫により胸部を締められ、また顔面も強打し負傷した。	68	10 ~ 29
12	14~15	お客様実車中、目的地に到着し、停車をして支払い中、当方車両右後バンパーに、トラックが接触してきたもの。	23	500 ~ 999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html